

平成 30 年度 第 4 回「生活支援基礎研修」

平成 31 年 3 月 20 日に、岡山駅近くのダイワロイネットホテル岡山駅前にて、一般社団法人全国軽費老人ホーム協議会平成 30 年度第 4 回「生活支援基礎研修」を開催しました。今回の研修には全国 7 ブロックから 32 名の施設長、生活相談員、介護職や事務員の方々が参加されました。

以前より、ご要望を頂いておりました西日本での開催を、今回から実施しました。

講義内容は「軽費老人ホームの制度の歴史と変遷」、「軽費老人ホームにおける現状の理解」、「コンプライアンス・リスクマネジメント」、「入居者支援や地域支援の在り方」、「先駆的实践事例の紹介」、「今後の軽費・ケアハウスの展望」と題して、6 つの講義が行われました。

受講者からは、「身近に起こりそうな問題点、事例で説明してくれたので分かりやすかった。(コンプライアンス・リスクマネジメント)」といった感想や、「施設職員と地域の関わりだけではなく、地域と入居者の関わりを深くすることが大事だと感じました。(先駆的实践事例の紹介)」、「自身のケアハウスで何ができるかを、帰って相談し取り組んでいきたいと思います。まだまだ出来る事や可能性は無限にあると感じました。(先駆的实践事例の紹介)」といった声を

頂き、とても好評でした。

ご参加いただいた皆様には、改めて軽費・ケアハウスの歴史と現状を正しく知る機会となり、先駆的实践事例や他施設の活動などが今後の施設運営の参考になればありがたいと思っています。

また、生活支援基礎研修ではこれからも多くの社員の皆様に関心を持って頂けるよう、軽費・ケアハウスに特化した研修を続けて参りたいと思います。今回受講していただいた皆様、どうも有り難うございました。

来年度からも、東日本開催と西日本開催の年 2 回開催を予定しておりますので、是非ご参加ください。

< 講義風景 >



●保岡理事による

「入所者支援や地域支援の在り方」及び「先駆的实践事例の紹介」



●野内副理事長による「今後の軽費・ケアハウスの展望」



●中川副理事長より受講者に修了証が渡されました。